

(電話一本で)行きます

聞きます(ともに課題を見つけます)

提案します(ともに解決します)



2022年(令和4年)11月10日発行

広報誌

第66号

〒629-2312 京都府与謝郡与謝野町字四辻150
Tel.0772-43-1020 Fax.42-0737

与謝野町商工会

題字 足立商工会長書

与謝野町商工会ホームページ <https://web.yosano.or.jp>
Eメール yosano-sci@kyoto-fsci.or.jp

商工会は地域の繁栄を祈り
会員企業の経営を支援します。

与謝野町事業者経費高騰緊急支援交付金

のお知らせ

与謝野町では、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等の影響下で、燃料費及び電気料金の高騰により影響を受けている町内事業者を対象に、事業継続の支援を目的に交付金が交付されます。

【交付対象者】

与謝野町内に本籍又は住所を有する中小企業者または小規模事業者等
※農業者は対象外となります。

【交付額】

補助率：支払総額の10分の6以内
上限額

事業者区分		交付金の限度額
中小企業者※①		40万円
小規模企業者※②		20万円
社会福祉法人 又は 特定非営利活動法人等	従業員数が5人を 超える事業者	40万円
	上記以外の事業者	20万円

※①中小企業法第2条第1項各号に規定する中小企業者

※②中小企業法第2条第5項に規定する小規模企業者

【対象経費】

令和4年4月1日～12月31日の間に支払った事業用の燃料費および電気料金

【申請期限】

令和5年2月15日(水)まで

※申請書類は本庁舎商工振興課、加悦庁舎、野田川庁舎の窓口で配布されています。与謝野町HPからもダウンロード可能です。

【問合せ先】

与謝野町役場 商工振興課
TEL: 0772-43-9012

補助率・上限額が
増額されました！
申請をお忘れなく！

京都府最低賃金(地域別最低賃金)が変わりました！

令和4年10月9日から

時間額 **968円** に改定されています。

京都府内の使用者は、この金額より低い賃金額で労働者(パートタイマー、アルバイトを含む。)を使用することはできません。

◎除外賃金◎

最低賃金には次の賃金は算入されません

- ①精皆勤手当、通勤手当、家族手当
- ②時間外・休日及び深夜手当(深夜割増賃金など)
- ③臨時に支払われる賃金(結婚手当など)
- ④1か月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与など)

詳細は京都労働局労働基準部賃金室(電話 075-241-3215)
又は最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

新春経済講演会の開催告知

【テーマ】世界の潮流・日本の選択

講師 山口 真由氏

■信州大学 特任教授

■法学博士

【日時】令和5年1月18日(水)
13時30分～15時

【会場】与謝野町商工会 本所

※コロナウイルス感染拡大状況により
講演が中止となる場合があります。
ご了承ください。



消費税

令和5年10月 インボイス制度が始まります

【インボイスとは】

売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「税率ごとに区分した消費税額等」の記載が追加されたものをいいます。

- ・インボイスを発行するためには、インボイス発行事業者の登録申請が必要です。登録は課税事業者が受けることができます。
- ・免税事業者の方も、ご自身の事業実態に合わせて、インボイス発行事業者の登録を受けるかをご検討ください。登録を受けるかどうかは任意です。

まずはインボイス発行事業者の登録要否の判断から…

- ☐ 売上先がインボイスを必要とするか検討しましょう
 - ・売上先が消費者や免税事業者である場合や簡易課税制度を選択している課税事業者の場合、インボイスを必要としません。
 - ・売上先がそれ以外の課税事業者である場合、仕入税額控除のために貴社が交付するインボイスの保存が必要ですが、制度開始から6年間は、免税事業者からインボイスの交付を受けられずとも、仕入税額の一定割合(80%・50%)を控除できます。
- ☐ 登録を受けた場合、受けなかった場合について検討しましょう
 - ・登録を受けた場合、売上先がインボイスを求めたときは、記載事項を満たしたインボイスを交付する必要があります。
 - ・現在免税事業者の方であっても、登録を受けると、課税事業者として申告が必要です。登録を受けている間は、基準期間の課税売上高が1,000万円以下となっても免税事業者となることはなく、課税事業者として消費税の申告が必要です。
- ☐ 登録を受ける場合は、登録申請書を提出しましょう
 - ・令和5年10月1日のインボイス制度の開始当初からインボイスを交付する場合は、令和5年3月31日までに、登録申請手続が必要です。

<織物・機械金属等巡回支援事業のご案内>

京都府織物・機械金属振興センターでは織物業や機械金属業等の製造業者が直面する様々な技術的課題に対し、専門家とともに巡回し支援を行われています。

お困りの際にはぜひ京都府織物・機械金属振興センターにご相談ください。

【受付期間】令和5年3月まで

【支援料】無料

【申込・問合せ先】京都府織物・機械金属振興センター
電話番号：0772-62-7401

新商品・新サービス等合同記者発表会を開催しました！

地域の事業者等が従来から有していた経営資源を広げるチャンスを提供し、新たな販路と取引先の拡大などの可能性を向上させながら、事業者の経営挑戦意識を高め、それらを地域業界内に波及させながら、個社のみならず他業界や異業種とも連携

を促進し、地域一体となった販路開拓に繋げていくことで、地域振興に寄与したいと考え、京都府初の2つの商工会（与謝野町商工会と京丹後市商工会）の協同で『新商品・新サービス等合同記者発表会』を開催しました。

与謝野町商工会からは4事業者が参加し、第1部では各事業者の新商品・新サービスのプレゼンテーションが行われ、第2部では各事業者への取材・インタビューが行われました

丹菱(株)



三景印刷(株)



日本三景天橋立の新たな観光スポット！
「あまのはしだてテラス」

豆本が流行！？手のひらサイズの
“時を超えた”母からの贈り物！丹後
ちりめんの巾着付き「赤ちゃん玉手箱」

欧風
タイニング
グッチーニ



砂後建設(株)



小さな家（タイニーハウス）で
①採って②作って③繋ぐ
惣菜直売所「グッチーニ Deli」

新たな地方創生！会社自体が“副業”
するという最先端のビジネススタイル
「建設業×農業＝建業農家（会社副業）」



左記 QR コードを読み取ると当日の配信映像（Youtube による映像アーカイブ）がご覧いただけます。
ぜひご覧ください。

第5回会員親睦ゴルフ大会を開催しました

10月8日（土）にゴルフを通して会員の親睦を深めることを目的として第5回会員親睦ゴルフ大会を久美浜カンツリークラブで実施しました。当日の参加者は24名で日頃の腕を競い合いました。



セミナー開催報告 創業ゼミ2022を開催しました

9月7日～10月19日にかけて、毎週水曜日に、創業予定者、既に創業されている方、創業に興味のある方など計11名参加のもと、創業ゼミ2022を開催しました。思い描く創業ビジョンを具体的に落とし込んでいくために、計7回のセミナーの中で、経営、マーケティング、財務、労務等を学ぶ機会を設け、創業計画書を作成しました。



参加者は、「創業に向けて同じような悩みを抱えている方もおられ、講義を受け、参加者同士で意見交換など行う中で悩みも解消された」と感想を述べておられました。

弥生会計セミナーを開催しました

10月19日～20日の2日間、10名参加のもと弥生会計セミナーを開催しました。例年大人気のセミナーで、今年度も定員を超える申込がありました。弥生会計をこれから導入しようとして検討している方や既に弥生会計を導入し更に作業効率を高めたい方などを対象に実際にパソコンを操作しながら学ぶ機会を設けました。「操作に慣れるまで難しかったが、慣れてしまえば手書きよりも断然楽になるし、間違いも減る」などの感想を述べておられました。



女性部

ボランティア事業を実施しました

8月17日より清拭用タオルの回収に取り組みました。部員の協力により、237枚のタオルを回収しました。10月6日に町内の介護施設に寄贈することが出来ました。
施設の方にも喜んで頂き、今後も引き続き継続していきたいと考えています。



きものでぶらり♪ちりめん街道 2022 に出店しました

10月16日に開催されたきものでぶらり♪ちりめん街道2022に、正絹の反物や和装小物等で出店しました。
4年ぶりの開催でしたが晴天にも恵まれ、ちりめん街道一帯は、着物姿の方で賑わっていました。



青年部

Yosano Go To Drive を開催しました

与謝野町の魅力を知ってもらう機会を創出することを目的に9月3日～9月30日にかけて「Yosano Go To Drive」を開催しました。3年連続で「Yosano Go To Drive」の開催となりますが、本年は青年部で用意したインスタントカメラで、町内の指定されたスポットを撮影していただくもので、113名の町民の方にご参加いただきました。

参加者からは、「普段家族で写真を撮ることがないので、良い思い出となりました」など多くのご感想をいただきました。



金色蚕糸神祭

10月16日（日）、加悦の実相寺において、多くの来賓方ご臨席のもと、金色蚕糸神祭を開催いたしました。
養蚕・生糸・織物の守護神として崇めている金色蚕糸神に対して感謝の意を表し、織物業界の繁栄を祈願いたしました。

